

I.ゼミ教員のプロフィール

詳細はHP

<http://tkd-jp.com/>

を参照

【現在の研究課題】

金融政策効果の空間的検証

(裏面に研究成果の一部〔加重平均地価分布図〕を掲載)

【研究活動】

一貫した研究テーマは“非観測変数の定量化、ならびにその変数を用いた政策効果の実証分析”です。

過去の業績はこのテーマに沿った経済統計あるいは計量経済分析に関わるマクロ経済の実証分析であり、大きく3つに大別できます。

I.金融政策効果の時系列分析

II.地価関数のクロスセクションあるいはパネル推計

III.基礎自治体レベルの経済波及効果推計

【教育方針】

例年ゼミ生はごく少数です。

その結果、毎回ゼミ生自身に興味のある議論に集中でき、レジュメ・レポートの作成についてもマンツーマンに近い形で指導できます。

コアレベルの学習では、現実の金融経済の理解に十分対応できません。未解決の問題やそれに対するダイナミックな取り組みについて、現実問題として捉えています。卒論ではデータを活用した分析を行ってまいります。

II.ゼミのプロフィール

【教員より】

マクロ経済学、金融政策論、計量経済学は現在進行形の学問です。次から次へと新たな問題や解決法が生まれてきます。ゼミではこうした現状をキャッチアップし、共にソリューションを見出そうとする意欲ある学生を待っています。

【ゼミの内容】

- 自身の興味のある経済現象について、データを用いた分析を通じて研究してまいります。
- 分析にはEViewsという、強力かつ操作が容易な計量分析ソフトを用います(本学導入済み)。

就職活動期に最高のパフォーマンスを発揮していただくため、前倒しで卒論に関する取り組みを始めてまいります。

< 専門演習 I >

- 計量分析ソフト EViews の基礎操作マスター
- 卒業論文の「タイトル」、「分析手法」、「分析領域」を確定した期末レポート(10枚相当)を作成

< 専門演習 II >

- 計量分析ソフト EViews の活用と Word、Excel、PowerPoint の連携的な活用
- わかりやすい研究報告スキルの習得
- 卒業論文のたたき台として期末レポート(30枚相当)を作成

【課外活動】

- ニーズがあれば対応します。ただしゼミ生の企画が第一です。
- 今年度は日本銀行・貨幣博物館・東京証券取引所への研究訪問(東京)です。

【ゼミ生の就職(進路)先】

三菱UFJ銀行、京都銀行、地方公務員、トッパン・フォームズ、住友倉庫、IT関連企業等、大学院(名古屋大)

【入ゼミの条件】

- 経済データを用いた計量分析を志していること
- コア統計学および計量経済学を履修済み or 履修予定であること
- 事前に簡単な顔合わせをしていただきます。

【アピールポイント】

卒業論文指導はどのゼミよりも早い段階で行い、就活までには「どんな研究をしていますか」という鉄板の質問に、高いクオリティで対応できるようにしています。その過程で、各種論文コンテストに応募する機会を提供し、過去何度も受賞に導いています。少数精鋭?のゼミですが、院生や研究生、TA・SA等、いろいろな属性の学生との交流を促しています。2次、3次募集も随時受け付けています。

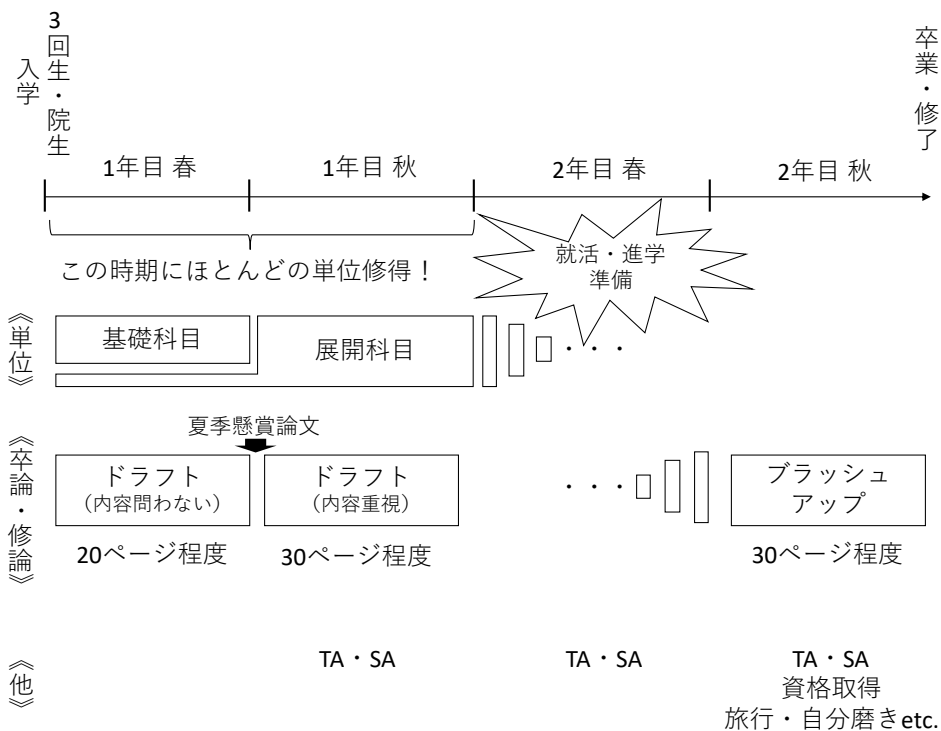
【連絡先】

Mail: m-tokuda@biwako.shiga-u.ac.jp

研究室 No.: 402B

オフィスパワー: 火曜日昼休み

ゼミ活動 イメージ



自治体毎の加重平均地価 (2020年地価公示データより)

